

団体名	特定非営利活動法人 石西礁湖サンゴ礁基金
所在地	沖縄県石垣市字石垣221番地
団体の目的	日本最大のサンゴ礁海域である石西礁湖が、高水温による白化、オニヒトデの大量発生、赤土流出及び水質汚濁等により衰退していることに対し、その生態系を再生し、かつての石西礁湖の姿を回復するため、攪乱要因の除去、良好な環境創成、持続可能な利用、調査研究・モニタリング、広報啓発等の事業を石西礁湖自然再生協議会構成員と協力して行い、地域住民、この地域を訪れる人々、その他すべての人の手に、サンゴ礁の海の恵みを取り戻すことを目的とする。
活動地域	沖縄県石垣市、竹富町
地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿	下記の4つの課題を解決した先に見える「サンゴ礁の恵みを生かし続けられる脱炭素・資源循環型社会の実現」を果たした八重山圏域の姿
地域の現状・課題	課題1: 脱・減プラスチック・代替化に向けたライフスタイルの実現 課題2: サンゴ礁の恵みを生かす観光などの持続可能な産業への転換 課題3: 減農薬・減化学肥料と栄養塩・有機物の循環利用による農業の推進 課題4: カーボンニュートラルの実現に向けた地域SDGs事業の推進
地域が持つ資源	サンゴ礁、土壌、観光客、栄養塩類など、プラスチック類(負の資源)
取組内容	サンゴ礁とフレンドリーな観光業、営農・畜産業、飲食店の普及
地域循環共生圏を実践することで想定される効果(変化)	(環境) 石西礁湖のサンゴが白化現象からのレジリエンスを回復し、サンゴ礁生態系が健全性を取り戻す (経済) サンゴ礁の破壊や、直接・間接的にサンゴ礁にストレスを与える経済から、カーボンニュートラルの実現とキャリングキャパシティを超過しない持続可能な経済へと転換する (社会) 脱・減プラスチック・代替化に向けたライフスタイルの実現を図り、使い捨てプラスチックに依存しない社会へと転換する

### 八重山圏域の望ましい姿と課題



### 八重山圏域における地域循環共生圏 達成方針

